

## アクションプログラムに基づく個別の取組みの進捗状況（17年4月～19年3月）

### 「進捗状況及び進捗状況に対する分析、評価、今後の課題」

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
	18年10月～19年3月の進捗状況		
1. 事業再生・中小企業金融の円滑化			
(1) 創業・新事業支援機能等の強化			
①融資審査態勢の強化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業種別担当者3名が「目利きの業種別経営支援講座」を受講修了しました。(17年9月、19年2月)</li> <li>・創業・新事業支援等の強化 創業・新事業・経営革新支援制度融資実行 124件1,353百万円 (うち「新進企営」29件 268百万円)</li> <li>内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス業 39件 499百万円</li> <li>・飲食業 37件 386百万円</li> <li>・不動産業 2件 12百万円</li> <li>・卸小売業 19件 204百万円</li> <li>・製造業 14件 181百万円</li> <li>・運輸業 2件 13百万円</li> <li>・建設業 11件 58百万円</li> </ul> </li> <li>・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として7先認定しました。(17年10月、18年11月)</li> <li>・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」を15回開催し、融資先として23先認定しました。</li> <li>・創業のモニタリングを78先実施しました。</li> <li>・営業店との連携による企業訪問を実施しました。 審査担当者 5名 企業訪問合計数 114先</li> <li>・営業店統括に「法人担当」を配置しました。(17年4月)(18年6月 組織変更により営業推進統括部「法人営業担当」に名称変更) 法人営業担当融資開拓実績(当座貸越極度額を含む) 58先 6,900百万円</li> <li>内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・建築業 17先 2,030百万円</li> <li>・製造業 12先 1,700百万円</li> <li>・卸小売業 18先 2,080百万円</li> <li>・運輸業 2先 80百万円</li> <li>・サービス業 9先 1,010百万円</li> </ul> </li> <li>・審査能力向上のため外部研修の「企業調査講習会」「中小企業経営改善支援実務研修」に、審査担当者2名、経営支援担当者2名が参加しました。(17年10月、12月、18年11月、12月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業種別担当者1名が「目利きの業種別経営支援講座」を受講修了しました。(19年2月)</li> <li>・創業・新事業支援等の強化 創業・新事業・経営革新支援制度融資実行 30件 318百万円 (うち「新進企営」6件 70百万円)</li> <li>内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・サービス業 7件 74百万円</li> <li>・飲食業 7件 84百万円</li> <li>・卸小売業 5件 83百万円</li> <li>・製造業 3件 34百万円</li> <li>・建設業 7件 35百万円</li> <li>・運輸業 1件 8百万円</li> </ul> </li> <li>・営業推進統括部「法人営業担当」による融資開拓 法人営業担当融資開拓実績(当座貸越極度額を含む) 12先 620百万円</li> <li>内訳 <ul style="list-style-type: none"> <li>・製造業 3先 250百万円</li> <li>・卸小売業 4先 180百万円</li> <li>・運輸業 2先 80百万円</li> <li>・サービス業 3先 110百万円</li> </ul> </li> <li>・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として4先認定しました。(18年11月)</li> <li>・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」を2回開催し、融資先として5先認定しました。</li> <li>・創業・新事業モニタリングを8先実施しました。</li> <li>・営業店との連携による企業訪問を実施しました。 審査担当者 5名 企業訪問合計数 19先</li> <li>・審査能力向上のため外部研修の「企業調査講習会」、「中小企業経営改善支援実務研修」に経営支援担当者2名が参加しました。(18年11月、12月)</li> <li>・営業推進統括部「法人営業担当」による実践的な法人融資開拓の推進スキル等の研修を18年10月16日より19年2月8日の間、計10日間、1エリアセンター(2店舗)他9営業店で渉外担当者を対象に実施しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・新事業案件会議「サポートデスク委員会」の開催、金沢商工会議所主催の「創業塾」への参画により融資判断能力が高まっています。</li> <li>・営業店との連携による企業訪問を実施し、経営者との面談による「目利き」能力の向上を引き続き図ります。</li> <li>・営業推進統括部の「法人営業担当」は継続して営業店渉外役席と帯同訪問し、資金需要の発掘ノウハウを高めるために研修を実施します。</li> <li>・創業支援融資先の業況報告として、「創業支援先の業況レポート」を全店に配布し、情報の共有化を図りました。今後も引き続き実施します。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・庫内講師が「目利き」能力向上のため研修会を開催しました。(17年11月)</li> <li>・創業支援融資先の業況報告として、「創業支援先の業況レポート」を全店に配布し、情報の共有を図りました。(18年7月)</li> <li>・営業推進統括部の「法人営業担当」による法人融資開拓の推進スキル等の研修を行いました。 実施期間 38日間、実施店舗 50店舗、 対象者 渉外担当者</li> </ul>		
②産学官の更なる連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」の総会に当金庫役員が参加しました。(17年6月)</li> <li>・「北陸地区産業クラスターサポート金融会議」に参加しました。(17年6月、18年3月、7月)</li> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」が当金庫主催「きんしんビジネスフェア2005」に出展しました。(17年10月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「第一回ビジネスマッチングフェア」に参加しました。(17年11月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(18年1月)</li> <li>・経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。(18年3月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の講演会、研究会活動報告会に参加しました。(18年6月)</li> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」の総会、講演会に参加しました。(18年7月)</li> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」が「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」に出展しました。(18年10月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「モノづくり産業クラスターフォーラム」に参加しました。(19年2月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(19年3月)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」が「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」に出展しました。(18年10月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「モノづくり産業クラスターフォーラム」に参加しました。(19年2月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(19年3月)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各種会議に積極的に参加し、情報の収集と活用を図ります。</li> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」のNPO法人化が遅れていますので、人員派遣は19年度上期中を予定しています。</li> <li>・ベンチャー企業へ新規融資実績はありませんが、既存の支援企業に対して継続的に融資支援を実施しています。今後も引き続き地域ベンチャー企業を積極的に支援していきます。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		18年10月～19年3月の進捗状況	19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
③地域におけるベンチャー企業向け業務に係る外部機関等の連携強化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「福祉医療機構」と業務提携を行いました。（17年5月）</li> <li>・石川県信用保証協会主催の「マル保融資と実務セミナー」に参加しました。（17年5月）</li> <li>・「中小企業基盤整備機構」と業務連携を行いました。（17年8月）</li> <li>・石川県商工会連合会と「商工貯蓄共済制度に係る改正」について会合を3回行いました。（17年7月、9月、10月）</li> <li>・信金中央金庫主催の「SDBセミナー」に参加しました。（17年5月）</li> <li>・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として3先認定しました。（17年10月）</li> <li>・当金庫主催の商談会「きんしんビジネスフェア2005」を開催しました。 於：石川県産業展示館3号館（17年10月） 出展企業・団体 138社 フェア参加者 約2,800名 当日商談件数 1,688件 成約件数 106件 開催後のフォローアップによる成約件数 6件、合計 112件</li> <li>・石川県産業創出支援機構主催の「経営セミナー」に参加しました。（17年11月）</li> <li>・㈱整理回収機構主催の「整理回収機構の機能活用セミナー」に参加しました。（18年2月）</li> <li>・北陸財務局主催の「日中経済融合における企業戦略セミナー」に参加しました。（18年2月）</li> <li>・金沢商工会議所主催の「制度金融と再生支援セミナー」に参加しました（18年3月）</li> <li>・日本PFI協会主催のPFIセミナー「民間発案型のPFI方式の新たな展開」に参加しました。（18年3月）</li> <li>・経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。（18年3月）</li> <li>・石川県商工労働部主催の「石川県中小企業総合連携会議」に参加しました。（18年7月）</li> <li>・石川県産業創出支援機構、石川県商工労働部主催の「ハンズオンセミナー スタートアップ説明会」に参加しました。（18年8月）</li> <li>・中小企業基盤整備機構北陸支部、北陸地区建設産業再生支援総合連絡会議主催の「建設業新分野進出セミナー」に参加しました。（18年9月）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸地区の18信用金庫合同で、「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催しました。（18年10月）</li> <li>ビジネスフェアの結果（18金庫） 於：石川県産業展示館3号館・4号館 出展企業・団体 397社 出展小間数 415小間 来場者 7,600名 当日商談件数 4,071件 商談成立数 280件 （開催後のフォローアップを含む。当金庫の実績は56件） 個別商談会 発注側企業 26社 商談テーブル数 30 商談件数 221件 内成約件数 64件</li> <li>・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として4先認定しました。（18年11月）</li> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「北陸地域中小企業再生支援セミナー」に参加しました。（18年11月）</li> <li>・中部経済産業局主催の「中小企業地域資源活用プログラム」等の説明会に参加しました。（19年2月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政府系金融機関との協調融資については過去にも実績があり、引続き取組みを推進します。</li> <li>・金沢商工会議所主催の「創業塾」に今後も引続き参加し、事業創業者のビジネスプランのプレゼンテーションを通し「目利き」能力を高めるとともに、創業者支援により地域貢献に寄与します。</li> <li>・「きんしんビジネスフェア2005」に引続き、北陸地区の18信用金庫合同で、「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催し、商談件数、成約件数等において予想を超える成果がありました。今後もビジネスマッチングを推進するため、継続的にフォローアップ、モニタリングを行います。また、ビジネスマッチング活動の促進と定着を図るため、合同の「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2007」の開催が決定しています。</li> <li>・外部機関等が主催するセミナーや交流会に積極的に参加して、情報を蓄積しました。今後、蓄積した情報を審査能力の向上、新規融資の発掘、新商品の開発に活用していきます。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）	
	18年10月～19年3月の進捗状況			
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸地区の18信用金庫合同で、「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催しました。（18年10月）</li> <li>ビジネスフェアの結果（18金庫）</li> <li>於：石川県産業展示館3号館・4号館</li> <li>出展企業・団体 397社</li> <li>出展小間数 415小間</li> <li>来場者 7,600名</li> <li>当日商談件数 4,071件</li> <li>商談成立数 280件</li> <li>（開催後のフォローアップを含む。当金庫の実績は56件）</li> <li>個別商談会 発注側企業 26社</li> <li>商談テーブル数 30</li> <li>商談件数 221件</li> <li>内成約件数 64件</li> <li>・金沢商工会議所主催の「創業塾」に参加し、融資先として4先認定しました。（18年11月）</li> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「北陸地域中小企業再生支援セミナー」に参加しました。（18年11月）</li> <li>・中部経済産業局主催の「中小企業地域資源活用プログラム」等の説明会に参加しました。（19年2月）</li> </ul>			
(2) 取引先企業に対する経営相談・支援機能の強化				
①中小企業に対するコンサルティング機能、情報提供機能の一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支店長、渉外代理を対象としたビジネスマッチングコーディネーター研修会を実施しました。（17年6月）</li> <li>・「中小企業基盤整備機構」と業務連携の覚書を締結しました。（17年8月）</li> <li>・当金庫主催の商談会「しんきんビジネスフェア2005」を開催しました。</li> <li>於：石川県産業展示館3号館（17年10月）</li> <li>出展企業・団体 138社</li> <li>フェア参加者 約2,800名</li> <li>当日商談件数 1,688件</li> <li>成約件数 106件</li> <li>開催後のフォローアップによる成約件数 112件</li> <li>・「M&amp;Aセミナー」を開催しました。（17年10月）</li> <li>講師：信金キャピタル(株)</li> <li>・「東京ビジネスサミット」に3社合同出展しました。（17年10月）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催しました。</li> <li>於：石川県産業展示館3号館・4号館（18年10月）</li> <li>出展企業、団体 397社</li> <li>出展小間数 415小間</li> <li>来場者 7,600名</li> <li>当日商談件数 4,071件</li> <li>商談成立数 216件</li> <li>開催後のフォローアップによる成約件数 280件</li> <li>個別商談会 発注側企業 26社</li> <li>商談テーブル数 30</li> <li>商談件数 221件</li> <li>内成約件数 64件</li> <li>・中小企業基盤整備機構と連携し、セミナーを開催しました。（18年10月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業基盤整備機構との合同セミナーを継続的に開催します。</li> <li>また、同機構の「商店街活性化シニアアドバイザー派遣制度」を活用し、積極的に取り組みます。</li> <li>・「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」の出展企業に対し、ビジネスマッチングを推進するため、継続的にフォローアップ、モニタリングを行います。</li> <li>・今後とも、中小企業に対するコンサルティング機能・情報提供機能の一層の強化を図るため、北陸地区信用金庫協会主催のビジネスフェアへ参加し、実効性の高い商談を行うための積極的なコーディネート活動を行います。更には北陸三県を越えた広域連合による合同の「しんきんビジネスフェア」の開催も検討しています。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
	18年10月～19年3月の進捗状況		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業基盤整備機構と連携し、セミナーを開催しました。（18年2月）            テーマ：「温泉旅館商店街活性化セミナー」            中小企業基盤整備機構、当金庫片山津支店、片山津商工振興会の連携 参加人数 54名</li> <li>・ビジネスマッチング推進のため、各金庫支店長を対象としたコーディネーター研修を開催しました。            参加人員 石川県 143名、富山県 205名、福井県 118名            関係団体 34名 総計 500名（18年4月）</li> <li>・「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2006」を開催しました。            於：石川県産業展示館3号館・4号館（18年10月）            出展企業・団体 397社            出展小間数 415小間            来場者 7,600名            当日商談件数 4,071件            商談成立数 216件            開催後のフォローアップによる成約件数 280件            個別商談会 発注側企業 26社            商談テーブル数 30            商談件数 221件            内成約件数 64件</li> <li>・中小企業基盤整備機構と連携し、セミナーを開催しました。（18年10月）            テーマ①「中小企業のための新会社法活用のポイント」            ②「中堅・中小企業のための事業承継対策」            ③「人口減少下での地域振興（滞在型観光）の取組みに向けて」            参加人員 ① 53名、② 47名、③ 53名            総計 153名</li> <li>・「東京ビジネスサミット」に出展しました。（18年11月）            出展企業数 725社 内当庫より5社出展</li> <li>・全信協の情報誌「しんきんビジネスマッチングサービス」に1社掲載しました。（19年3月）            商談件数 10件 内成約件数 1件</li> <li>・「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2007」でのビジネスマッチング推進のため、各金庫支店長及び実務者を対象としたコーディネーター研修を実施しました。            参加人数 159名（19年4月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーマ①「中小企業のための新会社法活用のポイント」</li> <li>②「中堅・中小企業のための事業承継対策」</li> <li>③「人口減少下での地域振興（滞在型観光）の取組みに向けて」</li> <li>参加人員 ① 53名、② 47名、③ 53名            総計 153名</li> <li>・「東京ビジネスサミット」に出展しました。（18年11月）            出展企業数 725社 内当庫より5社出展</li> <li>・全信協の情報誌「しんきんビジネスマッチングサービス」に1社掲載しました。（19年3月）            商談件数 10件 内成約件数 1件</li> <li>・「しんきんビジネスフェア 北陸ビジネス街道2007」でのビジネスマッチング推進のため、各金庫支店長及び実務者を対象としたコーディネーター研修を実施しました。            参加人数 159名（19年4月）</li> </ul>	

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
②中小企業支援スキルの向上を目的とした取組みの強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業大学校に職員1名を派遣しました。（17年4月）</li> <li>・中小企業大学校の入学試験を2名が受験しました。（17年7月）</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「融資渉外講座」に4名が参加しました。（17年5月～10月2名、18年6月2名）</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」に4名が参加しました。（17年5月～10月2名、18年11月2名）</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「企業分析講座」に3名が参加しました。（17年5月～10月2名、18年4月1名）</li> <li>・庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催しました。（17年11月）</li> <li>・庫内講師が融資実務の指導、財務分析等を若手職員に研修する「先輩塾」を開催しました。（32名受講）18年7月から6回開催</li> <li>・新たに3名の職員が中小企業診断士の資格を取得しました。</li> <li>・中小企業診断士資格取得のための通信講座を奨励し2名が受講し、2名が一次試験に合格しました。（18年9月）</li> <li>・信金中央金庫主催の「中小企業経営改善支援実務研修（建設業編）」に1名が参加しました。（18年12月）</li> <li>・「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得のため新任支店長及び次長が基礎研修を受講し37名が資格を取得、これにより総勢114名が資格取得者となりました。（19年3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士一次試験に2名が合格しました。（18年9月）</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」に2名が参加しました。（18年10月～11月）</li> <li>・信金中央金庫主催の「中小企業経営改善支援実務研修（建設業編）」に1名が参加しました。（18年12月）</li> <li>・経営改善セミナーを開催し、新たに37名が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得しました。（19年3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業支援関連講座受講のため全国信用金庫協会、北陸地区信用金庫協会等外部機関に職員を派遣します。</li> <li>・「先輩塾」については、今後も継続的に開催します。</li> <li>・経営支援活動ができる人材育成を目指し、今後も金庫内職員が講師となり研修会を開催します。</li> </ul>
③要注意先債権等の健全債権化等に向けた取組みの強化及び実績の公表等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援室に中小企業診断士（金庫内）を3名配置し、改善指導の強化を図りました。</li> <li>・認定した企業支援先139先全ての経営改善計画書を策定・指導した結果、47先の債務者区分がランクアップしました。（改善率 33.8%）</li> <li>・企業再生委員会において、決算期を迎えた企業支援先の予算実績管理の検証を延べ66先実施し、うち10先については再策定を指示しました。</li> <li>・企業支援先に本部担当者と支店長が連携して訪問、経営者と直接面談を行い、経営実態の把握やモニタリング指導を実施しました。（80先 訪問）</li> <li>・中小企業診断士5名（金庫内）が企業支援先の内3企業に対し直接マーケティング分析等を行って、経営戦略を立案し提言しました。（18年9月、19年2月、3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業支援先の経営改善計画書を49先策定しました。</li> <li>・経営改善指導により、企業支援先の内20先の債務者区分がランクアップしました。</li> <li>・企業再生委員会で予算実績管理の検証を15先実施し、内1先については再策定を指示しました。</li> <li>・企業支援先に本部担当者と支店長が連携して訪問、経営者と直接面談を行い、経営実態の把握やモニタリング指導を実施しました。（25先 訪問）</li> <li>・中小企業診断士5名（金庫内）が企業支援先の内2企業に対し、経営戦略を提案、経営改善計画書の策定に協力しました。（19年2月、3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営支援室に中小企業診断士（金庫内）を増員し、経営実態の把握や精緻な経営改善計画書の策定、モニタリングの指導強化を図りました。</li> <li>・経営支援室担当者と支店長が帯同訪問し、経営者との面談による実態把握と財務内容の改善指導を行った結果、企業支援先の債務者区分のランクアップ先数は目標を上回る実績となりました。</li> <li>・中小企業診断士5名（金庫内）によるマーケティング分析等の対象先を拡大し取組んでいきます。</li> <li>・企業再生委員会では、企業支援先の進捗状況管理表に基づき専門的なモニタリングを行い、営業店に具体的な指導・支援を行いました。</li> <li>・経営改善計画書の策定にあたっては、本部・営業店が一体となって経営者の意識改革と理解を求め、策定の指導・支援を継続して行います。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
(3) 事業再生に向けた積極的取組み			
①事業再生の早期着手に向けた取組みの促進及び多様な事業再生手法の一層の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・(株)整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、研修会を開催しました。(17年10月)</li> <li>・「私的整理ガイドライン」に準じた支援対象先の事業再生計画に基づき、債権放棄とDDS等の金融支援を行いました。(19年2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「私的整理ガイドライン」に準じた支援対象先の事業再生計画に基づき、債権放棄とDDS等の金融支援を行いました。(19年2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・DDSの実務知識取得のために支店長、本部融資担当者を対象とした研修会を開催しました。</li> <li>・外部機関（弁護士、会計士等）の指導を受けて、DDSの実務スキームを構築しました。</li> <li>・DDSは実施しましたが、事業再生ファンドについては、再生手法の多様化の見地から外部機関との業務提携を検討します。</li> <li>・今後とも、事業再生の早期着手に向けた取組みの推進及び多様な事業再生手法の一層の活用を図ります。</li> </ul>
②外部機関の事業再生機能の一層の活用及び金融実務に係る専門的人材・ノウハウの活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RCC債権の肩代り融資の実績は19先で、うち中小企業再生支援協議会等と連携した先は5先でした。 融資実績 19先 831百万円</li> <li>・中小企業基盤整備機構との連携交流（説明会）を実施しました。(17年8月)</li> <li>・RCC、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き、研修会を開催しました。(17年8月)</li> <li>・外部の経営コンサルタントを招き経営改善の手法等、経営改善セミナーを開催しました。 参加人数 22名 (17年10月、12月、18年2月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構、当金庫片山津支店、片山津商工振興会との連携により「温泉旅館商店街活性化セミナー」を開催しました。 参加人数 54名 (18年2月)</li> <li>・中小企業金融公庫から講師を招き研修会を開催しました。(18年7月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構から講師を招き研修会を開催しました。 参加人数 28名 (18年7月) 参加人数 38名 (18年8月)</li> <li>・外部の経営コンサルタントを招き経営改善の手法等、経営改善セミナーを開催しました。 参加人数 38名 (18年8月、10月、11月、12月、19年1月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構から講師を招き研修会を開催しました。 参加人数 30名 (19年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RCC債権の肩代り融資の実績は5先で、うち再生支援協議会等と連携した先は1先でした。 融資実績 5先 101百万円</li> <li>・外部の経営コンサルタントを招き経営改善の手法等、経営改善セミナーを開催しました。 参加人数 38名 (18年8月、10月、11月、12月、19年1月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構から講師を招き研修会を開催しました。 参加人数 30名 (19年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・RCC債権の肩代り目標20先には届きませんでした。19年5月末にRCC・中小企業再生支援協議会・政府系金融機関等と連携した案件を含む3先の実行を予定しています。更には、その他のRCC肩代り案件や中小企業再生支援協議会への相談案件も10数社あります。今後も再生可能と判断される先については、RCCや中小企業再生支援協議会等と連携し、積極的に対応していきます。</li> <li>・外部経営コンサルタント等による金融実務、経営改善手法の研修会を継続し、「目利き」能力の向上を図ります。</li> <li>・中小企業基盤整備機構の専門家を招き、お客様を含めて金融実務の研修会等を継続開催します。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
③再生企業に対する支援融資の拡充	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当金庫取引先にDIPファイナンスを実施しました。（1先）</li> <li>・エグジットファイナンスの導入にむけて、知識習得に努めています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当金庫取引先にDIPファイナンスを実施しました。（1先）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部機関からの要請があれば積極的に対応します。</li> <li>・外部研修には今後も積極的に参加します。</li> </ul>
④再生支援実績に関する情報開示の拡充、再生ノウハウ共有化の一層の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・融資実務担当者に対して、企業再生事例を紹介する研修会を開催しました。（17年6月）</li> <li>・㈱整理回収機構、中小企業金融公庫、信金中央金庫から講師を招き事業再生手法の研修会を開催しました。（17年10月）</li> <li>・融資実務担当者に対して、再生支援に向けた改善計画書作成手順の説明と企業再生の成功事例を紹介する研修会を開催しました。（17年11月、18年5月）</li> <li>・ホームページで経営改善事例を2先開示しました。（18年5月）</li> <li>・ランクアップ先の中から特徴的なものについて、成功事例として取りまとめています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ランクアップ先の中から特徴的なものについて、成功事例として取りまとめています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・営業店融資実務担当者に対して研修会で再生支援の実情を説明することで、営業店での再生支援への理解が深まっています。今後も定期的に情報を発信しスキルアップに努めます。</li> <li>・18年5月にホームページ上で経営改善事例の開示を実施し情報の共有化を図りました。19年5月に引続き経営改善事例を開示する等、今後も再生実績に関する情報開示を行います。</li> <li>・経営改善の成功事例を蓄積し、再生ツールとして活用します。</li> </ul>
(4) 担保・保証に過度に依存しない融資の推進等			
①担保・保証に過度に依存しない融資の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・新事業支援商品「新進企営」実績 29件 268百万円</li> <li>・第三者保証なしの「サポートファンド保証」実績 294件 4,055百万円</li> <li>・担保・第三者保証なしの「ビジネス応援団」の発売実績 183件 2,068百万円</li> <li>・保証極度額（新保証制度）の設定基準について研修会を開催しました。（17年6月、11月）</li> <li>・創業支援融資先の業況報告として、「創業支援先の業況レポート」を全店に配布し、情報の共有化を図りました。（18年7月）</li> <li>・「創業支援先の業況レポート」（平成19年度版）を作成のため、対象先の業況データを収集しています。</li> <li>・信用格付を精緻化するために新システムを導入し、全面稼働に向けて現在試行中です。（18年9月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・創業・新事業支援商品「新進企営」実績 6件 70百万円</li> <li>・第三者保証なしの「サポートファンド保証」実績 74件 722百万円</li> <li>・担保・第三者保証なしの「ビジネス応援団」実績 183件 2,068百万円</li> <li>・「創業支援先の業況レポート」（平成19年度版）を作成のため、対象先の業況データを収集しています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「新進企営」は目標値を達成しました。今後も積極的に取組みます。</li> <li>・第三者保証なしの「サポートファンド保証」は継続して推進しています。更に担保・第三者保証なしの新商品として18年10月から「ビジネス応援団」を発売しました。引続きこうした担保・保証に過度に依存しない融資商品の推進を図ります。</li> <li>・信用リスクに見合った金利体系の高度化では、正常先を4区分に細分化し、格付遷移率を把握するために、格付データの蓄積をしています。</li> <li>・融資審査のスコアリングモデルを検討していきます。</li> <li>・財務制限条項を含んだ約定書の策定のために、制限項目について検討しています。</li> </ul>



項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
②中小企業の資金調達手法の多様化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。(18年3月)</li> <li>・売掛債権担保貸付融資 実績 17件 207百万円 (獲得実行額 85件 1,069百万円)</li> <li>・私募債 実績 7件 870百万円</li> <li>・きんしん北陸税理士会提携ローン 実績 4件 34百万円</li> <li>・TKC経営者ローン 実績 4件 24百万円</li> <li>・シンジケートローン 実績 13件 2,028百万円</li> <li>・CLO 実績 110件 2,845百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売掛債権担保貸付融資 実績 5件 97百万円 (獲得実行額 34件 339百万円)</li> <li>・私募債 実績 3件 320百万円</li> <li>・シンジケートローン 実績 8件 1,587百万円</li> <li>・CLO 実績 107件 2,770百万円</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売掛債権担保貸付融資制度の推進については目標を上回り、今後も継続的に推進します。</li> <li>・適債要件の拡大により私募債の利用が増加しました。今後も積極的に取組みます。</li> <li>・引続き知的財産権担保融資、ノンリコースローン、プロジェクトファイナンス等の情報を蓄積して、融資手法の多様化に努めていきます。</li> <li>・中小企業金融公庫と連携し、CLO（ローン担保債権）を活用した無担保・第三者保証人不要の融資「きんしんCLOビジネスローン」を18年9月から取扱い、全国26の参加金融機関のうち、件数、融資額ともに全国トップの実績を上げました。今後も積極的に取組む方針です。</li> <li>・「きんしん北陸税理士会提携ローン」「TKC経営者ローン」の推進については第三者保証人不要の融資制度として積極的に取組みます。</li> <li>・シンジケートローンについては、今後も他金融機関と連携し積極的に取組みます。</li> </ul>
(5) 顧客への説明態勢の整備、相談苦情処理機能の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>（お客様への説明態勢の整備）</li> <li>・固定金利特約期間型や変動金利型住宅ローンの「重要事項の説明」を作成しました。住宅ローン固定金利特約期間型や変動金利型住宅ローンの申込時に金利変動リスク等について説明し、重要な事柄を書面で確認しています。(18年1月)</li> <li>・「与信取引の説明事項のチェック表」を改訂し、「説明者と異なる者が事前にチェックする項目」や「説明をした日時や状況を記入する欄」を作るなど相互牽制機能を整え、不適切な取扱いを防止することとしました。(18年3月)</li> <li>・貸付契約の都度の契約書面がない「割引手形」「手形貸付」について、お客様がいつでも契約内容を確認できるような契約条件が記載された書面をお客様にお渡しできるように検討しています。(18年9月)</li> <li>・貸付契約の都度の契約書面がない「割引手形」「手形貸付」について、計算書とともに契約条件が記載された「ご契約内容の説明」をお客様にお渡しすることとしました。(19年3月)</li> <li>・「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規程」については、「取引等の適切性の確保」の</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（お客様への説明態勢の整備）</li> <li>・貸付契約の都度の契約書面がない「割引手形」「手形貸付」について、計算書とともに契約条件が記載された「ご契約内容の説明」をお客様にお渡しすることとしました。(19年3月)</li> <li>・「与信取引に関する顧客への説明態勢に係る規程」については、「取引等の適切性の確保」の条項を追加するなど、お客様の保護を第一に「説明責任」をより明確としたものに改訂し、職員への説明会を実施しました。また、規程名もお客様の保護を第一とする観点により、「顧客保護に係る与信取引説明態勢規程」と変更しました。(19年3月)</li> <li>（苦情案件等の処理について）</li> <li>・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を2回開催しました。(18年10月、19年1月)</li> <li>・「ご意見箱」「目やす封書」を全営業店に設置し、お客様の幅広いご意見を業務に適切に反映させます。また、18年10月以降は、営業店毎に寄せられたご意見に対して回答を掲示するようにして、適切な対応に努めています。</li> <li>・「地域金融円滑化会議」に出席しました。(第12回 19年2月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>（お客様への説明態勢の整備）</li> <li>・お客様との契約の折には面前で本人の確認、保証意思の確認、契約の説明等に漏れが無いように「チェック表」を活用して、不適切な取扱いを防ぐように努めています。</li> <li>・固定金利特約期間型や変動金利型住宅ローンの「重要事項の説明」を作成し、お客様に金利変動リスク等について十分に説明することとしました。</li> <li>・個別契約書のない「割引手形」「手形貸付」について、新規貸出の場合に計算書とともに契約条件が記載された「ご契約内容の説明」をお渡しして、内容をご説明することとしました。</li> <li>・今後も「お客様の保護」を第一として、説明態勢の充実を図っていきます。</li> <li>（苦情案件等の処理について）</li> <li>・苦情案件への対応能力を高めるために、発生した苦情案件毎に法令に照らし合わせて検証し、発生原因の分析を行います。「不祥事件対策委員会」「オペレーショナルリスク委員会」等へ報告を行い、再発防止に向けた組織作りに取組みます。</li> <li>・「苦情相談受付票兼記録簿」から苦情事例の蓄</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）	
	18年10月～19年3月の進捗状況			
	<p>条項を追加するなど、お客様の保護を第一に「説明責任」をより明確としたものに改訂し、職員への説明会を実施しました。また、規程名もお客様の保護を第一とする観点により、「顧客保護に係る与信取引説明態勢規程」と変更しました。（19年3月）</p> <p>（苦情案件等の処理について）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・受付した苦情案件等については、発生要因を分析し、「不祥事件対策委員会」「オペレーショナルリスク委員会」等で未然防止、再発防止策を検討しました。</li> <li>・苦情案件等の再発防止に向けた取組みについては、営業店の臨店指導やコンプライアンス研修会を開催しました。</li> <li>・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を8回開催しました。（17年5月、9月、10月、18年3月、4月、5月、10月、19年1月）</li> <li>・「ご意見箱」「目やす封書」を全営業店に設置し、お客様の幅広いご意見を業務に適切に反映させます。また、18年10月以降は、営業店毎に寄せられたご意見に対して回答を掲示するようにして、適切な対応に努めています。</li> <li>・「地域金融円滑化会議」に出席しました。（第9回 17年9月、第10回 18年2月、第11回 18年9月、第12回 19年2月） 議題「各業界団体から寄せられた苦情・相談等実例の分析対応・処理状況等の報告」</li> <li>・法令遵守態勢の強化策や再発防止策の実施状況を知らせるため、全部店に「コンプライアンス便り」を発行しました。（18年2月）</li> <li>・「コンプライアンス便り」として「交通安全情報」（21回発行）や「防犯対策情報」（11回発行）を随時発行しました。</li> <li>・窓口アンケートの内容について見直しを行いました。（18年7月）</li> <li>・「個人情報取扱いに関する違反事例」に際して、通達等を発行して事例を開示し、再発防止に努めました。</li> <li>・新たにCSに関する専担部署を置き、苦情案件等に対応するほか関連部署と連携を図り、営業店指導も含め広範囲に取組みます。（19年2月）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「交通安全情報」や「防犯対策情報」を随時発行しました。</li> <li>・「個人情報取扱いに関する違反事例」に際して、通達等を発行して事例を開示し、再発防止に努めました。新たにCSに関する専担部署を置き、苦情案件等に対応するほか関連部署と連携を図り、営業店指導も含め広範囲に取組みます。（19年2月）</li> </ul>	<p>積を行い、定期的に発行している「コンプライアンス便り」や臨店指導により、その事例を開示し職員の問題意識の向上と再発防止を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「個人情報取扱いに関する違反事例」に際しては、引続き通達等を発行して事例を開示し、再発防止に努めます。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
(6) 人材の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業大学校に職員1名を派遣しました。(17年4月)</li> <li>・中小企業大学校の入学試験を2名が受験しました。(17年7月)</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「融資渉外講座」に4名が参加しました。(17年5月～10月 2名、18年6月 2名)</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」に4名が参加しました。(17年5月～10月 2名、18年11月 2名)</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「企業分析講座」に3名が参加しました。(17年5月～10月 2名、18年4月 1名)</li> <li>・庫内講師が中小企業再生に関する研修会を開催しました。(17年11月)</li> <li>・自己啓発ガイドの内容を見直し、講座内容の充実を図りました。(18年3月、19年3月)</li> <li>・庫内講師が融資実務の指導、財務分析等を若手職員に研修する「先輩塾」を開催しました。(32名受講)(18年7月から6回開催)</li> <li>・新たに3名の職員が中小企業診断士の資格を取得しました。</li> <li>・中小企業診断士資格取得のための通信講座を奨励し2名が受講し、2名が一次試験に合格しました。(18年9月)</li> <li>・信金中央金庫主催の「中小企業経営改善支援実務研修（建設業編）」に1名が参加しました。(18年12月)</li> <li>・「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格取得のため新任支店長及び次長が基礎研修を受講し37名が資格を取得、これにより総勢114名が資格取得者となりました。(19年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業診断士一次試験に2名が合格しました。(18年9月)</li> <li>・北陸地区信用金庫協会主催の「企業ランクアップ講座」に2名が参加しました。(18年10月～11月)</li> <li>・信金中央金庫主催の「中小企業経営改善支援実務研修（建設業編）」に1名が参加しました。(18年12月)</li> <li>・自己啓発ガイドの内容を見直し、講座内容の充実を図りました。(19年3月)</li> <li>・経営改善セミナーを開催し、新たに37名が「経営支援アドバイザー（当金庫認定）」資格を取得しました。(19年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業支援関連講座受講のため今後とも全国信用金庫協会、北陸地区信用金庫協会等外部機関に職員を派遣します。</li> <li>・「先輩塾」については、今後も継続的に開催します。</li> <li>・経営支援活動ができる人材育成を目指し、今後も金庫内職員が講師となり研修会を開催します。</li> </ul>
2. 経営力の強化			
(1) リスク管理態勢の充実	<p>(信用リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与信ポートフォリオの分析項目及び書式を定め、与信全体は年4回、大口先は年2回常務会に報告を行っています。更に18年9月には、15年3月期から18年度第3四半期までのポートフォリオの推移についても分析し、常務会に報告しました。</li> </ul> <p>(市場リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・金利リスク及び価格変動リスク等の市場関連主要リスクに係る「市場関連リスク主要指標推移</li> </ul>	<p>(信用リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・与信ポートフォリオについて、18年度第3四半期の分析を行い常務会に報告しました。</li> </ul> <p>(市場リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月「市場関連リスク主要指標推移表」を作成し市場リスク委員会で検証を行っています。</li> </ul> <p>(オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーショナルリスクの選定のため、損失事象の種類別及び各種業務別の現地調査項目を基にモ</li> </ul>	<p>(オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーショナルリスクの計量化及び管理手法への取組みが急がれます。今後は、オペレーショナルリスク委員会で以下の予定で取組むこととしています。</li> <li>①オペレーショナルリスクの選定（各部署よりリスク項目抽出等）</li> <li>②オペレーショナルリスクの収集方法を検討（収集のシステム化を含む）</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）	
	18年10月～19年3月の進捗状況			
	<p>表」を作成して、これらを一元的に管理し、市場リスク委員会で検証を行っています。</p> <p>(オペレーショナルリスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーショナルリスク委員会（旧事務リスク委員会）で、オペレーショナルリスクの定義を説明し、そのリスクの選定を行うため損失事象の種類別及び各種業務別の実施調査項目等を提案し、それを基にモニタリング項目の選定を検討しました。</li> <li>・オペレーショナルリスク委員会で取組みの検討を行うこととして、事務局をリスク管理統括部1Gとしました。（19年3月）</li> <li>・リスクの選定を具体化するにあたり各部署でリスク項目を抽出し、報告を求めました。（19年3月）</li> </ul> <p>(統合リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・信用リスク及び市場関連リスクはVaRで、オペレーショナルリスクは新BIS基準の基礎的手法でそれぞれリスク限度額を算出するとともに、統合リスク管理の導入に向けリスク資本の配賦方法及びストレステストについて検討を行いました。</li> <li>・統合リスク管理の第一歩として信用・市場関連・オペレーショナルリスクにそれぞれリスク資本を配賦しました。そして、毎月VaR法で各リスクの計量化を行い、計量化したリスク量が配賦したリスク資本額内に収まっているかどうか確認するとともに、毎月のリスク額の増減要因の分析を行いました。</li> <li>・18年度では未計測であった債券の信用リスク及び預貸金等の金利リスクの計測を新たに行い、19年度のリスク資本の配賦を行いました。</li> </ul> <p>(バーゼルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・標準的手法で17年3月期の信用リスクアセット額を算出し、自己資本比率に及ぼす影響を検証しました。</li> <li>・19年3月期からの実施に向け、迅速に精緻な信用リスクアセット額算出のためにシステム導入を決定し、データ整備及びリスク削減効果等について検討を行いました。</li> <li>・データの整備（信用リスク削減手法の適格要件定義の確認を含む）及び信用リスクアセット算定システムの検証を行い、標準的手法で信用リスクアセット額の算出を行いました。</li> </ul>		<p>ニタリング項目の選定を検討しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オペレーショナルリスク委員会で取組みの検討を行うこととして、事務局をリスク管理統括部1Gとしました。（19年3月）</li> <li>・リスクの選定を具体化するにあたり各部署でリスク項目を抽出し、報告を求めました。（19年3月）</li> </ul> <p>(統合リスク管理)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・これまで未計測であった債券の信用リスク及び預貸金等の金利リスクの計測を新たに行い、19年度のリスク資本の配賦を行いました。</li> </ul> <p>(バーゼルⅡ)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・データの整備（信用リスク削減手法の適格要件定義の確認を含む）及び信用リスクアセット算定システムの検証を行い、標準的手法で信用リスクアセット額の算出を行いました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>③オペレーショナルリスクの管理方策を検討</li> <li>④オペレーショナルリスクの報告態勢の検討</li> <li>⑤オペレーショナルリスクの計量化手法の検討</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
(2) 収益管理態勢の整備と収益力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄積した倒産確率データを整理・分析し、リスク管理、収益管理に活用する準備を行っています。</li> <li>・「リスク調整後収益管理システム」の設計・開発を行い、個社別の「リスク調整後収益管理システム」を導入しました。（18年9月）</li> <li>・経営改善計画書等の活用によりお客様への指導・支援を強化した結果、企業支援先の債務者区分が47先ランクアップしました。</li> <li>・信用格付を精緻化するために新システムを導入しました。（18年11月）</li> <li>・「リスク調整後収益管理」についての研修会を実施し、定着を図りました。（職階・担当係別、部店・エリア別に、きめ細かく実施）（18年10月、19年1～3月）</li> <li>・店舗別、業種別、格付別、地区別等、セグメント毎の「リスク調整後収益管理」が正式に稼動しました。（19年1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経営改善計画書等の活用によりお客様への指導・支援を強化した結果、企業支援先の債務者区分が20先ランクアップしました。</li> <li>・信用格付を精緻化するために新システムを導入しました。（18年11月）</li> <li>・「リスク調整後収益管理」についての研修会を実施し、定着を図りました。（職階・担当係別、部店・エリア別に、きめ細かく実施）（18年10月、19年1～3月）</li> <li>・店舗別、業種別、格付別、地区別等、セグメント毎の「リスク調整後収益管理」が正式に稼動しました。（19年1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・店舗別、業種別、格付別、地区別等、セグメント毎の「リスク調整後収益」を分析し、収益管理の充実を図ります。また、営業店への指導を継続し、収益やリスクについての理解をより深めることに努めます。</li> <li>・「内部格付制度」の導入により、格付を中心とした自己査定を実施する環境が整いました。今後は自己査定システムによる随時査定の実施や信用リスク計量化の一層の高度化を図ります。（19年10月予定）</li> </ul>
(3) ガバナンスの強化			
①総代会の機能強化に向けた取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・総代氏名のディスクロージャー誌への開示にあたり、個人情報保護法に留意し「利用目的の同意書」の徴求を行いました。（全総代163名より徴求）</li> <li>・「会社法施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（会社法等）」の施行を踏まえて18年4月に17年度決算に係る通常総代会の招集手続きを開始し、会社法施行前の信用金庫法に基づいて18年度通常総代会を開催しました。</li> <li>・改正信用金庫法における役員の任期のうち、特に監事の任期に関する部分について検討を行いました。</li> <li>・総代会の仕組み等について、より一層会員から理解を得られるように「第99期業務のご報告」に総代会に関する事項、総代会制度、総代会の仕組み（図説）を掲載し、開示方法の充実を図りました。</li> <li>・総代に対するアンケート調査の方法、内容等について検討しました。</li> <li>・全国信用金庫協会を通じて他金庫の事例等を参考に、総代に対するアンケート調査（案）を作成しました。（19年2月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・全国信用金庫協会を通じて他金庫の事例等を参考に、総代に対するアンケート調査（案）を作成しました。（19年2月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「利用目的の同意書」の主旨について総代にご理解を頂き、当初の計画通り実施しました。</li> <li>・総代会の仕組み等について、会員に理解を得られるように「第99期業務のご報告」に総代会制度等の開示を行いました。</li> <li>・「会社法施行に伴う関係法律の整備等に関する法律（会社法等）」の施行に伴い信用金庫法が一部改正されたことから、書面による議決権行使、電磁的方法による議決権行使、総代会の招集手続きの変更等について検討します。</li> <li>・アンケート調査については、全国信用金庫協会を通じて他金庫の事例等を参考として検討します。（19年11月に実施予定）</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
②半期の開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・18年3月期における半期情報を、店頭およびホームページにて開示しました。(17年11月)</li> <li>・19年3月期における半期情報より、損益の状況、金融再生法ベースの保全状況等を追加開示し、内容の充実にも努めました。(18年11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・19年3月期における半期情報より、損益の状況、金融再生法ベースの保全状況等を追加開示し、内容の充実にも努めました。(18年11月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20年3月期における半期情報は、パーゼルⅡに対応した開示を実施します。また、自己査定システムを完成させ、より精緻な半期開示、四半期開示に向けた体制整備にも努めます。</li> </ul>
③財務内容の適正性の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「財務諸表に係る情報開示要領」を作成しました。(18年3月)</li> <li>・担当各部の作業フロー表、チェックリスト、及び確認書を作成しました。(18年3月)</li> <li>・内部監査を実施し、財務諸表の適正性を監査しています。</li> <li>・18年度版ディスクロージャー誌に内部監査の有効性の確認事項を開示しました。(18年7月)</li> <li>・システム移行により事務取扱内容が変更されたので、各種検証態勢を再構築しました。(19年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・システム移行により事務取扱内容が変更されたので、各種検証態勢を再構築しました。(19年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・財務諸表の作成に留まらず、各種報告、外部提出書類等にも同様の検証態勢を構築し、内部監査の有効性を図ります。</li> <li>・連結子会社等の内部監査の有効性を検証します。</li> </ul>
(4) 法令遵守（コンプライアンス）態勢の強化			
①営業店に対する法令等遵守状況の点検強化等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンプライアンス等小委員会」を3回開催しました。(17年4月、7月、10月)</li> <li>・代表役員3名が1年半の間で3回全営業店を訪問し直接職員と意見交換を行いコンプライアンスに関する認識を高めるための指導を行いました。さらに本部職員と直接意見交換する場を設けて同様の指導を行いました。</li> <li>・ACO（アシスタント・コンプライアンス・オフィサー）・SCO（シニア・コンプライアンス・オフィサー）の資格取得と人材育成について 取得実績 17年度 ACO 24名 SCO 27名 合計51名取得 18年度上期 ACO 26名 SCO 30名 合計56名取得</li> <li>・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を8回開催しました。(17年5月、9月、10月、18年3月、4月、5月、10月、19年1月)</li> <li>・コンプライアンスに関する臨店指導を4回以上行い研修の実施状況、「情報・相談ごと連絡票（事務ミスを含む）」の運用状況、コンプライ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・代表役員3名が本部職員と直接意見交換する場を設けて、コンプライアンスに関する認識を高めるための指導を行いました。(19年1月～3月)</li> <li>・ACO（アシスタント・コンプライアンス・オフィサー）・SCO（シニア・コンプライアンス・オフィサー）の資格取得と人材育成について 取得実績 18年度下期 ACO 16名 SCO 19名 合計35名取得</li> <li>・コンプライアンス担当責任者研修、コンプライアンス・オフィサー研修を23回開催しました。(18年10月、19年1月)</li> <li>・コンプライアンスや個人情報保護に関する各店毎の課題や研修の実施状況、「情報・相談ごと連絡票（事務ミスを含む）」の運用状況について、全店平均で1回以上検証と臨店指導を実施しました。</li> <li>・新たにコンプライアンス基本方針とコンプライアンス規程を定め、コンプライアンス・マニュアルである「私たちの行動ルール」に織り込み、全職員に交付して、内容についての周知徹底を図ることにしました。(19年3月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本部間の連携強化を図る取組みについて、専担部署であるコンプライアンス部の機能を充実させ、同部が把握・分析したコンプライアンス上の問題や課題を各委員会へ答申することになり、「コンプライアンス小委員会」を廃止しました。</li> <li>・役職員の意識・風土・組織等の診断結果の報告を受けて、問題点に対する具体的な改善策を検討し、コンプライアンス態勢の強化に取り組まします。</li> <li>・今後も研修等において「内部通報制度規程」の説明を実施し、制度についての認識を深めていきます。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
	<p>アンスや個人情報保護に関する各店毎の課題について、順次検証と指導を行いました。「心の問題」のケア対策については、コミュニケーション担当者と外部委託した「産業カウンセラー」2名で営業店を巡回し、個人面接によるカウンセリングを実施しました。（17年6月～9月）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>各部署毎に「コンプライアンス・マニュアル」を策定しました。（17年6月）</li> <li>「指定休暇時の業務監査」については立会人を設け、厳格に実施しています。</li> <li>コンプライアンス態勢強化のために外部コンサルタントを導入し、役職員の意識・風土・組織などの診断を実施しました。（18年1月～3月）</li> <li>外部コンサルタントによる診断結果の報告会を実施しました。 部長、支店長対象（18年4月） 役員、執行役員対象（18年7月）</li> <li>18年4月1日施行の「公益通報者保護法」に対応し、「内部通報制度規程」を策定しました。（18年3月）</li> <li>「内部通報制度規程」の説明会を実施しました。（18年4月）</li> <li>新たにコンプライアンス基本方針とコンプライアンス規程を定め、コンプライアンス・マニュアルである「私たちの行動ルール」に織り込み、全職員に交付して、内容についての周知徹底を図ることにしました。（19年3月）</li> </ul>		
②適切な顧客情報の管理・取扱いの確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報管理態勢に係る一斉点検を実施しました。</li> <li>「個人情報監査チェックシート」を作成し、これを基に総合監査の一部として個人情報管理態勢に係る監査を全部署で実施しました。</li> <li>私物カバンの執務スペース内への持込を禁止しました。</li> <li>カメラ付携帯電話の執務スペース内での使用を禁止しました。</li> <li>携帯電話へのお客様情報の登録を原則禁止しました。</li> <li>個人情報に係る事務取扱いの「Q &amp; A」を作成し、各店で常時閲覧可能なものにしました。</li> <li>パソコンのアクセスログの管理・分析を毎月行っています。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>インターネット等による庫内LANと外部との接続について、安全性の観点から営業店での接続は分離し、本部には外部接続専用のパソコンを設置しました。（18年10月）</li> <li>外部監査機関に依頼し、庫内3部署において個人情報保護状況の実態にかかる監査を実施しました。（18年11月）</li> <li>全職員（パート・契約・派遣職員含）を対象に「個人情報保護にかかる自己チェックシート」に基づき点検を実施しました。（18年10月、19年1月）</li> <li>業務委託先について定期的に個人情報管理態勢の調査を行うことで、個人情報の取扱いについて安全管理措置が取られているかを再評価しました。（19年3月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護に係る安全管理態勢については概ね整備され、当該専担部署を変更しました。今後とも個人情報の適切な取扱いや安全管理の維持・継続と十分な態勢の確保に努めます。</li> <li>「個人情報取扱いに関する違反事例や外部での事故事例」に際しては、引続き通達等を発行して事例を開示し、再発防止に努めます。</li> <li>業務委託先について、個人情報管理態勢の再調査を行い、個人情報の取扱いについて安全管理措置が取られているかを継続して確認します。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
	18年10月～19年3月の進捗状況		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部へ発信するメールはすべて本部にて集中監視を行っています。</li> <li>・全職員（パート・契約・派遣職員含）を対象に個人情報保護研修を実施しました。（17年11月）</li> <li>・文書保存規定を全面的に見直し、個人情報保護を盛り込んだ「文書取扱規定」を整備しました。（18年1月）</li> <li>・個人データ（BO：ビジネスオブジェクト）へのアクセスにはパスワード入力を必須とし、同パスワードは部店長管理としました。</li> <li>・暗号化した専用フォルダを設置し、パソコン上の個人情報を含むファイルを同フォルダに保管しました。</li> <li>・業務委託先について個人情報管理態勢の再調査を行い、安全管理態勢の確認を行いました。（18年1月～3月）</li> <li>・専任部署の変更等があったことにより、規程要領等の見直しを行いました。（18年6月）</li> <li>・FAX誤送信防止のためのシステムを導入しました。（18年7月）</li> <li>・「個人情報取扱いに関する違反事例や外部での事故事例」に際して、通達等を発行して事例を開示し、再発防止に努めました。（18年7月）</li> <li>・営業店における個人情報管理台帳の標準化は完了し、全部店で作成しました。（18年9月）</li> <li>・インターネット等による庫内LANと外部との接続について、安全性の観点から営業店での接続は分離し、本部には外部接続専用のパソコンを設置しました。（18年10月）</li> <li>・外部監査機関に依頼し、庫内3部署において個人情報保護状況の実態に係る監査を実施しました。（18年11月）</li> <li>・全職員（パート・契約・派遣職員含）を対象に「個人情報保護に係る自己チェックシート」に基づき点検を実施しました。（18年10月、19年1月）</li> <li>・業務委託先について定期的に個人情報管理態勢の調査を行うことで、個人情報の取扱いについて安全管理措置が取られているかを再評価しました。（19年3月）</li> </ul>		



項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
	18年10月～19年3月の進捗状況		
(5) ITの戦略的活用	<p>(次期システムの導入)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・当初稼働日を予定していた18年5月8日を延期し、プログラム検証の徹底・事務の習熟・お客様への広報等に万全を期し、9月19日に新システムを稼働しました。</li> <li>・新システム稼働により、営業店では精査事務を始めとして事務負荷が軽減され、また地域のお客様へきめ細かいサービスの提供を図ることができました。</li> <li>・お客様保護を図るため、ATMから1日、1ヶ月あたりの支払限度額変更を可能にし、疑わしい取引での制限を図りました。</li> <li>・ATMによる振込を登録することにより、次回からの振込手続を簡便にする機能を取り入れました。</li> <li>・顧客の利便性と制度対応としてしんきんiネットの導入、ATM振込10万円超本人確認、個人信用情報センターシステムの更改やしんきん保証システムの更改対応を行いました。</li> </ul> <p>(渉外支援システムの更改)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・17年6月から一般渉外係向けに携帯情報端末を5店舗に展開し、試行しました。17年7月下旬から9月上旬にかけて全店に携帯情報端末を順次展開し、10月より本格稼働しました。</li> </ul> <p>(通信回線の速度アップとバックアップ回線敷設)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次期システムに備え、勘定系回線と情報系回線の統合に向け17年12月までに現行の情報系回線を広域イーサネットに切替えました。</li> <li>・バックアップ回線の敷設を完了しました。(18年4月)</li> <li>・新システム稼働と同時に勘定系回線と情報系回線を統合し、勘定系回線の高速、完全バックアップ化を図りました。(18年9月)</li> </ul> <p>(情報系サーバの更改)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新しいサーバを導入し、ソフトのバージョンアップに伴うテストを重ねています。(18年2月)</li> <li>・全クライアントに新しいバージョンのソフトを導入し、新サーバへの切替作業を実施しました。新しいハードとソフトにより操作性やレスポンスが向上し、バックアップ等運用の自動化が実現しました。(18年9月)</li> </ul> <p>(勘定系システムの共同運営・開発のための新会社)</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・新勘定系システムの稼働と同時に、偽造・盗難カード等お客様保護の対応を行いました。</li> <li>・営業店事務の合理化と事務の集中化を目的とした端末機によるイメージ処理の導入は、19年1月から為替処理の集中化と顧客の利便性を目的にFAX受付サービスを導入した事により一旦見送りました。</li> <li>・新システムのコンセプトである一線完結を実現するために、営業店事務の一層の本部集中化を図ります。</li> <li>・お客様保護のため、ICカードの導入等システム課題を解決するとともに多様なサービスを提供するシステム作りを進めていきます。</li> <li>・迅速なシステム開発を行うために、新会社と連携して適切なスケジュール管理を行います。</li> <li>・マーケティング戦略顧客データベース（CRMS）の構築を目的に渉外支援システムを発展させ、各店舗に保有するデータをセンターサーバへ集中管理することを検討しています。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・当金庫・尼崎信金・兵庫信金の勘定系システムを共同運営・開発するための新会社を設立し、システムの開発や運用の全てを新会社へアウトソーシングしました。（18年7月）</li> <li>・アウトソーシング先からはシステム資源の使用状況報告や業務実施状況を日報と月報により、モニタリングを行っています。（18年10月）</li> </ul> （収益管理システムを更改） <ul style="list-style-type: none"> <li>・新システム稼動と同時に新しいALM・店別収益システム及び個社別採算管理システムを稼動させました。（18年9月）</li> </ul> （営業店事務の本部集中と合理化） <ul style="list-style-type: none"> <li>・「事務合理化プロジェクト委員会」を立上げ、営業店事務の集中化を検討しています。</li> <li>・お客様から為替データをFAXで受付するサービスを導入し、営業店事務の集中化を行いました。（19年1月）</li> </ul>		
(6) 協同組織中央機関の機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金中央金庫の「経営効率分析」を受けて、自己資本、資産内容、経営基盤の内容について、全国（規模別）及び北陸地区の指標との対比により分析を行いました。（17年10月、18年10月）</li> <li>・信金中央金庫の「ポートフォリオ分析」について、代表役員等を交えた意見交換会を実施しました。（17年11月、18年11月）</li> <li>・信金中央金庫の総合研究所、市場資金部に各1名出向者を派遣しました。（18年6月、9月）</li> <li>・信金中央金庫と信用リスクの計量化（VaR）の意見交換を行いました。（18年9月）</li> <li>・信金中央金庫の「ポートフォリオ分析」についての意見交換会を実施しました。（18年11月）</li> <li>・信金中央金庫が制作した信用リスクの計量化（VaR）ソフトを当金庫に導入し、研修会に参加しました。（19年1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金中央金庫の「ポートフォリオ分析」についての意見交換会を実施しました。（18年11月）</li> <li>・信金中央金庫が制作した信用リスクの計量化（VaR）ソフトを当金庫に導入し、研修会に参加しました。（19年1月）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・信金中央金庫が制作した信用リスクの計量化（VaR）ソフトを有効に活用し、リスクの分析強化を図ります。</li> <li>・引続き、信金中央金庫と連携を図り、ポートフォリオ分析や信用リスクの計量化の高度化を図ります。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）															
	18年10月～19年3月の進捗状況																	
3. 地域の利用者の利便性向上																		
(1) 地域貢献等に関する情報開示																		
①地域貢献に関する情報開示	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ISO認証取得と「賑わい回廊ミュージアムきんしん」についてディスクロージャー誌に掲載しました。(17年8月)</li> <li>・ISO認証取得の仲介業務等の内容をホームページに開示しました。(17年11月)</li> <li>・「きんしんISO認証取得支援ローン」の内容をホームページに開示しました。(18年1月)</li> <li>・「エコ住宅」ローンの内容をホームページに開示しました。(18年1月)</li> <li>・お客様の環境配慮活動の支援策として、独自の「エコ格付」算定表に基づく低利な融資商品をホームページ及びディスクロージャー誌に開示しました。(18年5月、7月)</li> <li>・企業支援先の具体的な成功事例をホームページに開示しました。(18年5月)</li> <li>・エコリフォームローンの内容をホームページに開示しました。(19年1月)</li> <li>・環境保全を目的とした融資の実績件数、金額を開示します。(19年5月)</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>「エコカー」ローン</td> <td>216件</td> <td>376百万円</td> </tr> <tr> <td>「エコ住宅」ローン</td> <td>81件</td> <td>1,939百万円</td> </tr> <tr> <td>「エコビジネス」ローン</td> <td>3件</td> <td>15百万円</td> </tr> <tr> <td>「エコリフォーム」ローン</td> <td>1件</td> <td>5百万円</td> </tr> <tr> <td>ISO認証取得支援サービス</td> <td>2件</td> <td></td> </tr> </table>	「エコカー」ローン	216件	376百万円	「エコ住宅」ローン	81件	1,939百万円	「エコビジネス」ローン	3件	15百万円	「エコリフォーム」ローン	1件	5百万円	ISO認証取得支援サービス	2件		<ul style="list-style-type: none"> <li>・エコリフォームローンの内容をホームページに開示しました。(19年1月)</li> <li>・環境保全を目的とした融資の実績件数、金額を開示します。(19年5月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後もお客様にご利用頂けるよう環境保全を目的とした融資商品等の内容を積極的に開示していきます。</li> </ul>
「エコカー」ローン	216件	376百万円																
「エコ住宅」ローン	81件	1,939百万円																
「エコビジネス」ローン	3件	15百万円																
「エコリフォーム」ローン	1件	5百万円																
ISO認証取得支援サービス	2件																	
②充実した分かりやすい情報開示の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針等、環境保全に関する金融サービスの提供をホームページに開示しました。(17年5月)</li> <li>・地域貢献活動の内容をミニディスクロージャー誌に開示しました。(17年6月)</li> <li>・地域貢献活動の内容をビジュアルに表現し、分かりやすくミニディスクロージャー誌に開示しました。(18年7月)</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。(18年2月、19年2月)</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」の結果を踏まえた改善策をホームページに開示しました。(18年6月、19年6月(予定))</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。(19年2月)</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」の結果を踏まえた改善策をホームページに開示します。(19年6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・情報開示の更なる内容充実を図るために、お客様のご意見を反映させ、充実した分かりやすい情報開示に努めます。</li> <li>・CSRの情報開示を行います。(19年8月)</li> </ul>															

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
		18年10月～19年3月の進捗状況	
(2) 地域の利用者の満足度を重視した金融機関経営の確立	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「ご意見箱」「目やす封書」に寄せられたご意見を職員に開示しました。(17年5月)</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①調査実施日 平成18年2月10日～24日</li> <li>②調査対象者 当金庫とお取引のあるお客様約4,700名（無作為抽出）</li> <li>③調査方法 郵送及びインターネット調査</li> <li>④回答数 781件 （有効回答者の回収率 約17%）</li> <li>⑤調査委託業者 (株)ベンチャー・リンク （東証1部上場）</li> </ul> </li> <li>・「お客様満足度調査」の結果報告をホームページに開示しました。(18年5月)</li> <li>・「お客様満足度調査」の結果を踏まえた改善策をホームページに開示しました。(18年6月)</li> <li>・お客様のご意見に対する回答を営業店に掲示しました。(18年10月)</li> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①調査実施日 平成19年1月26日～2月12日</li> <li>②調査対象者 当金庫とお取引のあるお客様4,754名（無作為抽出）</li> <li>③調査方法 郵送及びインターネット調査</li> <li>④回答数 1,041件 （有効回答者の回収率 約22%）</li> <li>⑤調査委託業者 (株)ベンチャー・リンク （東証1部上場）</li> </ul> </li> <li>・「お客様満足度調査」の結果報告と改善策をホームページに開示します。(19年6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「お客様満足度に関するアンケート調査」を実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①調査実施日 平成19年1月26日～2月12日</li> <li>②調査対象者 当金庫とお取引のあるお客様4,754名（無作為抽出）</li> <li>③調査方法 郵送及びインターネット調査</li> <li>④回答数 1,041件 （有効回答者の回収率 約22%）</li> <li>⑤調査委託業者 (株)ベンチャー・リンク （東証1部上場）</li> </ul> </li> <li>・「お客様満足度調査」の結果報告と改善策をホームページに開示します。(19年6月)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のお客様満足度を重視した金融サービスを提供するため、継続的にお客様のご意見を経営に反映させ、改善できる態勢を確立します。</li> </ul>
(3) 地域再生推進のための各種施策との連携等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工(会)会議所等との提携ローン取扱いについて以下の通り実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> <li>17年7月取扱開始 金沢商工会議所提携ローン 白山商工会議所提携ローン 小松商工会議所提携ローン 加賀商工会議所提携ローン</li> <li>17年8月取扱開始 砺波商工会議所提携ローン 石川県商工会連合会提携ローン</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・北陸財務局主催の「地域密着型金融に関するシンポジウム2006」にパネラーとして出席し、事例発表を行いました。(18年12月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構・北陸支部と業務連携に関する意見交換会を開催しました。(18年12月)</li> <li>・全国異業種交流協議会北陸ブロック連合会発足に係る「いしかわ異業種交流会」に参加し、「しんきんビジネスフェア2007」との連携開催の申出を受けました。(19年1月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「モノづくり産業クラスターフォーラム」に参加しました。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各種セミナー、講演会等に参加し、情報収集や情報交換等を行っており、引続き地域の活性化と再生に反映できるよう積極的に参加します。</li> <li>・各種提携ローン推進に努めます。</li> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」のNPO法人化が遅れていますので、人員派遣は19年度上期中を予定しています。</li> <li>・今後も中小企業基盤整備機構との連携により「新連携支援事業」推進等定期的に職員向け勉強会を開催します。</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
	18年10月～19年3月の進捗状況		
	<p>17年9月取扱開始 富山県商工会連合会提携ローン</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「石川県産業革新戦略」の認識高揚に向けて研修会を開催しました。</li> <li>演題 『石川県産業革新戦略 石川県地域経済圏構想 ～内なる高度集積と外への飛躍的展開～』</li> <li>講師 石川県商工労働部</li> <li>・石川県産業創出支援機構主催の「石川県産学連携コーディネーター協議会」へオブザーバーとして参加しました。(17年7月、11月)</li> <li>・中部経済産業局等主催の「北陸地域新連携事業意見交換会」へ参加しました。(17年8月)</li> <li>・石川県主催の「温新知故産業創出プロジェクト」キックオフ記念講演会に参加しました。(17年10月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「第一回ビジネスマッチングフェア」を視察しました。(17年11月)</li> <li>・(財)金沢コンベンションビューロー主催の「観光コンベンション塾」に参加しました。(17年12月、18年1月、2月、3月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(18年1月)</li> <li>・「金沢都市圏におけるITを活用した総合的な交通システムに関する検討委員会」にオブザーバー参加しました。(18年2月、3月)</li> <li>・加賀市等主催の「新生加賀市における観光交流推進講演会」に参加しました。(18年2月)</li> <li>・中部経済産業局主催の「企業ブランド戦略セミナー」に参加しました。(18年3月)</li> <li>・石川県主催の「元気フォーラム」に参加しました。(18年3月)</li> <li>・経済産業省等主催の「北陸地域知的財産戦略セミナー」に参加しました。(18年3月)</li> <li>・金沢星稜大学専門ゼミナールを山中温泉に誘致・コーディネートしました。(18年4月)</li> <li>・北陸経済連合会主催の北陸STCサロン（成果事例報告会）に参加しました。(18年4月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の講演会及び研究会活動報告会に参加しました。(18年6月)</li> </ul>		<p>(19年2月)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「新連携事業意見交換会」に参加しました。(19年2月)</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。(19年3月)</li> <li>・経済産業省中部経済産業局主催の「地域中小企業サポーターズサミット in 北陸」に参加しました。(19年3月)</li> <li>・中小企業基盤整備機構・中小企業大学校 三条校との連携により、職員向けの勉強会「中小企業の経営の高度化（経営相談等による）」を開催しました。(19年3月)</li> </ul>

項 目	17年4月～19年3月の進捗状況		19年3月までの進捗状況に対する分析・評価及び今後の課題（19年3月までの成果、今後の課題に対する対応方針等を含む）
	18年10月～19年3月の進捗状況		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「北陸ライフケアクラスター研究会（HLC）」の総会、講演会に参加しました。（18年7月）</li> <li>・北陸財務局主催の「地域密着型金融に関するシンポジウム2006」にパネラーとして出席し、事例発表を行いました。（18年12月）</li> <li>・中小企業基盤整備機構・北陸支部と業務連携に関する意見交換会を開催しました。（18年12月）</li> <li>・全国異業種交流協議会北陸ブロック連合会発足に係る「いしかわ異業種交流会」に参加し、「しんきんビジネスフェア2007」との連携開催の申出を受けました。（19年1月）</li> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「モノづくり産業クラスターフォーラム」に参加しました。（19年2月）</li> <li>・中小企業基盤整備機構主催の「新連携事業意見交換会」に参加しました。（19年2月）</li> <li>・北陸ものづくり創生協議会主催の「ライフケア産業振興セミナー」に参加しました。（19年3月）</li> <li>・経済産業省中部経済産業局主催の「地域中小企業サポーターズサミット in 北陸」に参加しました。（19年3月）</li> <li>・中小企業基盤整備機構・中小企業大学校 三条校との連携により、職員向けの勉強会「中小企業の経営の高度化（経営相談等による）」を開催しました。（19年3月）</li> </ul>		